

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 畑作が主体の山間農業地域
- 未整備農地の存在と高齢化等による担い手不足に伴い、耕作放棄地が増える可能性のある地区

【支援内容・背景】

- 耕作放棄地の解消を目指し、地域で担い手による「青果用さつまいもの新産地育成」を推進。
- 助成対象者は上記の産地育成の一員として、作付面積拡大及び収量増加に取り組み、農業所得の向上を実現。規模拡大意向があることから地域内の課題の解消の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「(株)道脇農園」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成25年 設立（株式会社化）
- 平成26年 経営改善計画の認定取得
- 令和4年 甘藷生産を開始

《事業活用の背景》

○ 農業所得の向上と地域内の課題の解消に向け、甘藷の作付面積拡大と収量増加を図るため、作業効率の向上に資する高性能機械一式を導入。

【事業実施時の状況】
〈R4年度〉

- 売上高 28,400千円
- 経営面積 9.6ha
(うち甘藷)
- 売上高 1,460千円
- 経営面積 0.7ha

《事業による整備内容》

- トラクター 1台
事業費 7,744千円
(国費 3,520千円)
- トレーラー 1台
事業費 847千円
(国費 385千円)
- 堀取り機 1台
事業費 3,878千円
(国費 1,763千円)
- ツル切り機 1台
事業費 763千円
(国費 347千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 34,800千円 (122%)
- 経営面積 11.6ha (120%)
(うち甘藷)
- 売上高 6,300千円 (431%)
- 経営面積 2.0ha (285%)

事業の
効果

《対象者》 高性能機械の導入により、甘藷作付面積の拡大と収量増加による農業所得の向上を実現。
《地区》 農業所得の向上を実現したことで、「青果用さつまいもの新産地育成」に向けた営農モデルが確立し、地域内での高性能機械導入が進み、作付面積拡大及び生産量の増加を実現。